

医療・介護連携型サービス付き高齢者向け住宅モデル事業

目的

高齢者が医療・介護が必要となっても安心して住み続けることができるよう、医療・介護サービス機能を付加したサービス付き高齢者向け住宅を普及促進する。

事業概要

- 医療・介護・住宅の三者が相互に連携し、各サービスを効果的に提供できる方策や体制の整っている住宅を選定
- 住宅を整備する事業者又はオーナーに対し、整備費の一部を補助
(補助対象は、社会福祉法人、医療法人、株式会社等)
(オーナー型の場合は個人も補助対象)
- 補助対象

(単位:千円)

区分		補助上限額
住宅	生活支援サービススペース等	15,000
医療	診療所、訪問看護ステーション	4,000
介護	小規模多機能型居宅介護、短期入所生活介護、複合型サービス	15,000
	認知症対応型通所介護、通所介護、通所リハビリテーション	10,000
	夜間対応型訪問介護、訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護	5,000
他	緊急通報・安否確認装置設置費	9,000

* 生活支援サービススペース等
緊急時対応、安否確認及び生活相談などの基本サービスを行うスペース等

* 医療系事業所、介護系事業所の補助対象はそれぞれ一つとする。

平成26年度の取組

- 予算額：166,134千円
- 補助金を交付して整備を促進するとともに、選定案件の評価・検証を実施

これまでの実績

- 選定件数(カッコ内は物件所在地) 15件(536戸)
 - ・平成21年度 2件(日野市、足立区)
 - ・平成22年度 4件(昭島市、品川区、足立区、府中市)
 - ・平成23年度 1件(八王子市)
 - ・平成24年度 4件(板橋区、世田谷区、国分寺市、立川市)
 - ・平成25年度 4件(品川区、清瀬市2件、葛飾区)
- ※ 25年度選定分は未開設。

モデルのイメージ図

